

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	仙台市あおぞらホーム		公表日 令和8年3月18日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	12	0		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	10	2		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9	3	<ul style="list-style-type: none"> ・建物自体が古く、防音設備が整っていないため、声や音が響きうるさい。 ・温水が出ない事があり、子どもが手洗いを嫌がる。 ・大きく構造化ではないが集中しやすい環境や特性に合わせた配慮を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・建物の老朽化から防音設備が整っていないが、こどもたちがわかりやすい環境を整えられるような職員同士声を掛け合い環境作りに務めていく。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	5	<ul style="list-style-type: none"> ・未回答 1 ・保育士の衛生観念が低くおむつ交換や掃除の際も手袋をしていない人が多い。用具入れのロッカーも汚い。 ・水道管が衛生的ではないと感じる。食事の時の手袋等。 ・水回りが掃除をしても汚れが取れない位傷んでいる。 ・保育室が1つ空いているので活動によって使い分けしている。 ・冬場は玄関や廊下など寒く、素足の子どもたちに合っていない環境であると思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・こどもたちが使用する衛生面を再度確認し、職員研修を実施していく。建物の老朽化から水回りが特に老朽化しているため修繕を検討していく。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	11	1		
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	9	3		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	3	<ul style="list-style-type: none"> ・トマト会がある。 	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	3	<ul style="list-style-type: none"> ・意見を言う機会があまりない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・クラス会議やあおぞら会議などの会議などで意見を吸い上げられるような体制作りに務める。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	11	1		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	12	0	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児施設合同研修等は実施しているが内容については検討が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員が学びになれるような研修を検討していく。
その他	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	10	2	<ul style="list-style-type: none"> ・クラスで話し合いそれぞれ意見を出し合っている。 	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	12	0	<ul style="list-style-type: none"> ・アセスメントする力を向上させていく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・アセスメントシートを使用しアセスメントを取る視点を広げられるように個々の力の向上を目指していきたい。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	12	0		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	11	1		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	11	1		

適切な支援の提供	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	12	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	10	1	・未回答1 ・リーダーに任せてしまっている部分が多い。 ・朝にくる子どもを確認し、活動を考えている。	・個々のこどもに合わせた支援が行えるように体制作りや保育の内容を今後も検討していく。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	11	1	・工夫してきたが、年齢差がある中での活動をうまく作ることができなかった。 ・あそびの内容は固定化されやすい。子どもの姿に合わせて検討していききたい。	・低年齢のこどもが入園することが増えてきたことでの保育の内容を検討したり状況によってあそびを分けるなどの工夫が必要。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	10	2		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	11	1	・クラス会議等で確認、話し合いを行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8	4	・できる日とできない日有 共通は心掛けている。 ・その日のうちに反省できない日がある。 ・日々の業務の確認はしているが、支援内容についてはもっと深く話す必要がある。 ・毎日忙しいが朝等の時間を使って話し合いを行っている。 ・その日のうちに共有できない時は次の日に行っている。	・行事前などは打ち合わせと振り返り等ができない時には、重要事項の共通ファイルを持って今後も共有して。また特記する内容は個別に共有できるような取り組みを行っている。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	11	1		
23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9	3	・評価までの期間に見直し訂正することはできていないと思う。	・必要に応じて計画の見直しを行っている。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参加しているか。	11	1	・児発管やクラス担任や必要時には看護師が参加している。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	12	0		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	12	0	・移行については移行先で連携し引継ぎを行っている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	4	未回答2 ・就学に移行する年齢の園児がいないため。 ・小学校に就学する年齢の児がいない。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	9	1	未回答2 ・見学の機会を作っている。 ・ケースに応じて情報共有を行っている。	
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外泊研修に参加させているか。	11	0	・未回答1	
	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	9	1	・未回答2	
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	10	0	・未回答2 ・交流保育の実践。 ・交流保育を行っている。	・今年度より鶴ヶ谷希望園との交流保育を行ってきた。今後も内容を検討して実施していきたい。	

	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	11	1	<ul style="list-style-type: none"> ・共通理解までの手ごたえを感じられないこともあった。 ・伝い合っているが、共通理解までいっていないこともある。 ・1日あった事を振り返り際には伝え保護者と共有している。 	・保護者とのこどもの共通理解に向けて、こどものアセスメントを行い、伝達研修などの学びから保護者との共通理解を進めていきたい。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	10	2		
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	12	0		
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	12	0		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	12	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	12	0		
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	11	1	・夏まつりや運動会など主に行事の際に保護者同士の交流(普段保育に参加していない保護者)を作っている。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	12	0		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	12	0		
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	11	1	・個人情報がかんがえられない場所に多く置いてある。	・個人情報は必ず鍵の付いた場所に置くように徹底する。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	11	1	・視覚的にわかりやすい絵を用いて伝えるなどの配慮を行っている。	・並ぶのがわかるように足跡を置いたり、順番を理解できるような絵を用いた支援を行っている。
44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	8	4	<ul style="list-style-type: none"> ・地域親子に向けたまつりの企画を実施している。 ・地域向けの祭り、地域支援で未就園児向けに月2回保育室を開放している。 		
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	12	0	・緊急対応訓練はその都度内容を変えて行っている。	
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	12	0		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	12	0		
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	11	1		
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	10	2		
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	11	1		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	11	1		
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	12	0	・1日の終わりにヒヤリハット報告書を出し、対策と共に全員で共有している。		

53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	12	0		
----	--	----	---	--	--